

2012年10－12月期四半期別GDP速報（1次QE）
公表に際しての甘利経済財政政策担当大臣談話

2013年2月14日（木）

1. 本日公表した2012年10－12月期GDP速報（1次QE）では、実質成長率は前期比年率▲0.4%と、3四半期連続のマイナスとなったが、マイナス幅は縮小した。
その要因としては、消費や公共投資等が増加するなど内需の一部には底堅さもみられたことが挙げられる。他方、世界景気の減速等を背景として、引き続き輸出が減少し、設備投資についてもマイナスとなった。
2. 先行きについては、当面は弱さが残るものの、日本銀行による金融緩和や緊急経済対策による政策効果に加え、世界経済の緩やかな回復が期待されることから、我が国経済は緩やかに回復していくと見込んでいる。
3. 政府としては、日本経済再生に向けて、大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略の「三本の矢」により、長引くデフレから早期に脱却し、雇用や所得の増加を伴う景気回復を目指してまいりたい。

（以上）